



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

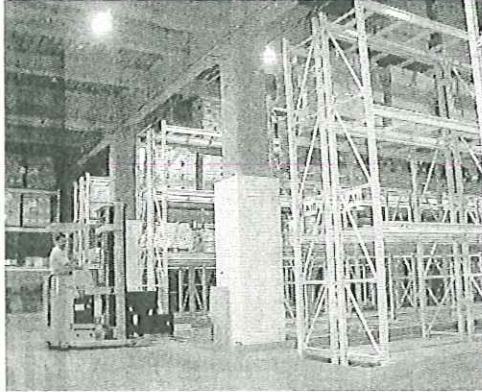
9 | 29 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3167号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

保管効率に配慮したラック設備を導入



同社は生命保険・損害している。五階建てで、倉庫部分の天井高は一、二階、代理店への発送など階が六・七、四、五階を手掛けており、若洲本社は四・二層。今月から来月社と葛西センター(江戸にかけて、本稼働に向けて業務を行ってきたラック工事を実施中。だが、新規顧客から大口保管効率を高めるため、業務を受注。既存センターでは対応し切れないため、新たに物流センターを採用。パレット収容能力を確保した。順次、荷物は葛西センターの二倍にの移転を行い、葛西センターは来年三月に新木場センターに集約する。

新木場センターは、若洲本社から二階に位置し、略は空調完備で、事務所

には仮眠室や食堂を備えるなど、働く作業員の環境にも配慮している。来年度に中央防波堤外側埋立地から若洲を結ぶ東京臨海臨港道路二期工事が完了する。若洲エリアは二〇一〇年度に事業展開に弾みを付けた。これまで、品質管理の「顧客の信頼を得るために、本業で磨きをかけてほしい」と話している。

## 若 洲

# 新木場センター稼働

来月から

## 3600パレット収容実現

【石井麻里】若洲(岸上忠彰社長、東京都江東区)は十月から「新木場センター」(同)を本格稼働させる。コア事業である帳票類の保管、発送業務で新規顧客を獲得したのに伴い、物流センター機能を拡充させるのが狙いで、基幹拠点の若洲本社(同)近隣で新センターを開設した。保管効率に配慮したラック設備を導入し、延べ床面積六千平方メートル規模で三千六百パレットの収容能力を実現する。

には仮眠室や食堂を備えるなど、働く作業員の環

境にも配慮している。来年度に中央防波堤外側埋立地から若洲を結ぶ東京臨海臨港道路二期工事が完了する。若洲エリアは二〇一〇年度に事業展開に弾みを付けた。これまで、品質管理の「顧客の信頼を得るために、本業で磨きをかけてほしい」と話している。

境にも配慮している。来年度に中央防波堤外側埋立地から若洲を結ぶ東京臨海臨港道路二期工事が完了する。若洲エリアは二〇一〇年度に事業展開に弾みを付けた。これまで、品質管理の「顧客の信頼を得るために、本業で磨きをかけてほしい」と話している。